

第5回 池田市上下水道事業経営審議会会議録

日 時 令和4年8月2日（火）
午前10時～午前11時
場 所 池田市上下水道庁舎 研修室

次 第

1. 開 会

2. 出席委員・欠席委員の報告

出席委員

柴 健次 会長
藤田 祥子 副会長
尾崎 博彦 委員
菊谷 通隆 委員
中村 一雄 委員
堀 智子 委員

欠席委員

国定 友博 委員

3. 議 事

(1) 池田市上下水道事業経営戦略の改定について

(2) その他

次回以降の審議会の日程について

第6回審議会の日程は令和4年10月27日（木）

4. 閉 会

第5回池田市上下水道事業経営審議会 質疑内容

○柴会長

今回でこれまでの審議を踏まえた経営戦略改定版（案）の確定を行い、次回で水道料金・下水道使用料の改定案を含めた答申（案）をまとめていく予定。

本審議会は、上下水道部が策定する、水道料金・下水道使用料の改定を含めた経営戦略の見直しに対して、意見を求めるという諮問を受け、第4回まで審議を行ってきた。

第4回までで、意見は出揃っているなので、それを反映し、まとめたものが経営戦略改定版（案）となる。

すでに事前配布でお読みいただいていると思うので、本日はこの経営戦略改定版（案）を確定したい。

（経営戦略改定版（案）は、第1回から第4回までの審議の結果を現行の経営戦略に落とし込んだもの。新規追加した分を赤字・文言修正等を青字としている。）

《「経営戦略改定版（案）」に対する質疑応答》

○藤田副会長

資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」27ページの水道の投資・財政計画のところ、水道事業費用の支払利息は直近の動向を鑑み0.6%を採用とあるが、30ページの下水道事業費用の支払利息は0.8%を採用と記載されている。

これは水道と下水で利率を変えているということか。

◎横井課長（経営企画課）

水道と下水で利率を変えている理由は、資金には公的資金と民間資金があるが、直近の状況を鑑みて、下水の方では民間資金の割り当てがあった場合に利率が高くなることを加味して計算しているため。

○藤田副会長

資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」２ページの６行目・７行目で「新型コロナウイルス感染症拡大」という文言があるが、その後の文章では「新型コロナウイルス感染拡大」となっているため、「症」の字を省く表記に統一された方がよいのではないか。

○柴会長

ご指摘の通り修正を踏まえて確定の作業に入る。

○堀委員

資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」１６ページの、財政に関する経営指標分析において、⑩給水原価のグラフで池田市の値が平均より内側に入っている。この表示だと、平均より低い、安いというイメージがあるが、実際は高いのではないか。

◎横井課長（経営企画課）

このグラフの見方としては、内側に入っていると値が悪い、つまり高い、という意味。

○堀委員

全体的な感想として、第１回～第４回の審議会の議論の集約という位置付けだが、これまで議論されてきたことが、原本である平成３０年度に作成した１０年間の経営戦略の中に入り込んでしまうと薄められてしまい、課題や問題点が浮かび上がってこないが、仕方ないと思う。

改定版の位置付けは非常に難しいと考える。例えば、資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」２～４ページは当初版が出された後の状況が説明されていて、１２ページ以降は、当初経営戦略を立てた際の見通し・推移を挙げられているが、実際にはその後の実績が出てきている点が追加されていないので違和感がある。

１２ページの水道事業の分析で「今後、管路及び施設の老朽化に伴う修繕費や更新に伴う減価償却費、支払利息の増加が見込まれます」とあるが、実際は２０１８年から２０２０年にかけて減価償却費は増加しているものの、支払利息は減少しているので、必ずしも一致しておらず、実績と上手くかみ合っていない。

13 ページで「資本的支出は増加が見込まれる」とあるが、2018 年と 2020 年は増加しているものの、2019 年は減少している。一本調子で増加しているのではないため、この文章は実態にそぐわないと考える。

14 ページの下水道事業の分析で「委託料及び減価償却費、支払利息等の資本費が大部分を占めており、今後、管渠及び施設の老朽化に伴い増加が見込まれます」とあるが、実績では委託料が減少している年もあり、減価償却費や支払利息に至っては 3 年連続減少しており、文章と実績が一致していない。このような点に違和感がある。

○柴会長

そもそも中間の改定版の位置付けの問題であり、今のご指摘を受け入れると審議会自体をやり直すことになる。つまり検証結果を踏まえて、文言をすべて確認する作業はしておらず、この審議会で審議して合意が得られた部分のみを修正・加筆し、それ以外の部分は変更しないという改定版（案）となっている。

検証結果と経営戦略（案）の照合を行っていないため、その分は織り込めていない。実績を踏まえて修正するものではなく、計画ベースの修正案と理解している。

○堀委員

資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」25 ページの水道の起債充当率で、「平成 29 年度にかけて事業費の 1/2 としてきましたが、更新に伴う資金減少に対応するため充当率の引き上げを検討し、平成 30 年度より事業費の 3/4、令和 5 年度より事業費の全額としました。しかし、今回の見直しでは直近の資金の状況を勘案し、資金残高と企業債残高のバランスに配慮し、経営戦略後期の令和 5 年度から令和 9 年度にかけては、事業費の 3/4 とします。」とあるが、令和 5 年度からは全額とするという計画を立てたが、それを見直したという表記になっており、平成 30 年度より 3/4 とするという計画を立て、実際に 3/4 を実行したという表記で、計画と実績の 2 つが混ざっているので理解しにくい。

○柴会長

厳密に読むとその通り。第 1 回～第 4 回の審議会で合意し、実績ま

で踏み込んで合意を得たところだけこのようになっている。読みにくいかもしれないが、大体で読み取って頂きたい。

現在は赤字・青字を使用しているので見やすいが、実際に改定版が確定すると全て黒字なるのでますます読みとりにくい点はある。しかし過去もそのようにして経営戦略を一行一行すべてチェックするというのはやっていない。

◎横井課長（経営企画課）

前回の審議会も、気になる文言等があれば修正する、というスタンスであった。

○柴会長

基本的な修正の方針としては、上下水道部が作成する経営戦略に対して我々委員が議論し、合意を得たところだけ修正・加筆されるという理解。計画と過去5年の実績の修正部分を踏まえて、途中経過ではあるが、実績の部分を書き直すという修正にはなっていない。この点を前提として、改定版（案）を確定して頂きたい。

○藤田副会長

今回は経営戦略の中間の見直しで、一番大きな変更は用途別から口径別に体系変更する点であるが、そのメッセージが読み取りにくい。

資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」25ページ下部に唯一、「池田市は現在、用途別の料金体系となっておりますが、投資に係る費用に対する負担が明確で他の自治体で多く採用されている、口径別料金体系への変更も必要となります。」と書いてあるが、もう少し、この変更を実施していくということを最初の方に盛り込んでおくべきではないか。

口径別に体系変更したうえで、水道は5%、下水は20%の料金改定をお願いしたい、という内容を明示しておく方が望ましいのではないか。

○柴会長

今のご指摘の内容を、資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」2ページの項目3に一言でも入れられないか、ということ。この文章の中にどのように盛り込むか、今決めなければ、本日確定することはできない。

◎横井課長（経営企画課）

現行の経営戦略の投資財政計画としては改定率の仮定のみを記載しており、用途別から口径別への変更内容は、料金改定後、次の経営戦略を策定する際に結果を記載しようと考えていた。

この時点で口径別について明言するにしても、冒頭の部分で加筆を行うのも、毛色が異なるので難しい。

○柴会長

堀委員のご指摘と同じで、10年間を前提とする経営戦略を途中で変更した点を強調して書き込むのは難しい。

藤田副会長のご指摘は、我々の委員の名前で出す答申案にて、強調すべきだと思われることを書き込むことが可能。次回（第6回）の審議会で発案・議論となる。

経営戦略（案）は上下水道部が作成するものであり、それに対する我々の意見は、答申案にて提示することになる。

○堀委員

経営戦略の位置付けを理解できていない。上下水道部としては、現状考えている案がこれである、ということ。我々委員として、今後料金改定をどう行っていくかについて検討し、答申を出すということか。

○柴会長

経営戦略というのは10年間の計画を立て、本来は中間の検証を行う必要があるかどうかは決まっていないが、恐らく要求されていると思われる。

◎横井課長（経営企画課）

経営戦略において、5年おきの審議会で客観的に検証すると記載している。

○柴会長

1度決まった経営戦略を、日々修正しながら使っていくものだという理解によれば、文章をその都度変更する必要はない。5年おきで検証するとされているので、今回は残りの5年間のための修正を一部行ったと認識。

料金設定や、料金の徴収のあり方の変更が認められた後、改定が行われた戦略に基づいて料金改定等が実際に行われていくと思われる。

5年の検証を含めた経営戦略の改定において、どこまで正確性を求めるのか、位置付けが難しい。

○藤田副会長

中間時点で、用途別から口径別へ体系変更をするという大きな変更が行われるということ自体は、どこかに記載しておいた方がよいのではないか。

○柴会長

それは我々の審議の内容ではない。委員の感想として、答申を出すことになるが、改定版に加筆の可能性はあるか。

◎横井課長（経営企画課）

強調することは可能だが、詳細まで加筆するとなるとバランスが難しい。例えば資料「池田市上下水道事業経営戦略 改定版（案）」25ページの「平成30年度から令和9年度にかけては、令和5年度に5%の値上げが必要となります。」とあり、この部分を多少強調することは可能だが、中身の細かいことまでは記載できないと考える。

○堀委員

経営戦略が出るタイミングと、我々の答申案を出すタイミングが気になる。結果は議会において決まるのか。

◎横井課長（経営企画課）

スケジュールを説明すると、第6回審議会終了後、経営戦略改定案をパブリックコメントにかけ、大幅な修正があれば再度審議会を開くことになる。修正が無ければ答申案をもって答申となり、市長等に説明後、改定版を出す時期を決定する。料金改定については答申に基づき意思決定が行われたうえで、議会に提出し、通過すれば改定となる。

料金改定の内容は、決定後、改定版に追記する予定。パブリックコメントは現時点まで審議した内容についてかけるものである。

○柴会長

経営戦略の改定版の意味合いが分かりにくいというご指摘など、や

や曖昧な点も含みつつ、我々の審議結果を反映した改定版を提案したいということで、いかがか。

色々意見は出たが、改定版は間違ったところは修正して頂き、それ以外の部分については修正箇所がなかったということで、委員の皆様にお伺いするが、パブリックコメントに提出する原案として、経営戦略改定版（案）を確定してよろしいか。

○堀委員

ここで確定するのか。これが確定したら、我々委員の責任はどこまでなのか。疑問なのは、監査報告書等は提出して承認されたら正式なものになるが、この経営戦略はどのような扱いになるのか。

○柴会長

上下水道部の責任において経営戦略改定版（案）を作成し、我々委員が審議し議論した結果、内容を了承したということ。

この経営戦略は企業でいう経営の目安であり、大筋認められたら、これに従って料金改定等の話が進んでいくと思われる。

我々の知らないところで経営戦略改定版（案）ができたのではなく、審議を行ってきたという点がポイント。

位置付けに対する根本的な疑問は払拭されていないようだが、本日経営戦略改定版（案）を確定してよろしいか。

○全員

異議なし。

○柴会長

これをもって確定した。本日の審議とは別に、答申案作成に向けて、1点だけ事務局に補足説明をお願いしたい。

《事務局説明「第5回 上下水道事業経営審議会」》

○柴会長

第4回の審議会では、藤田副会長が指摘された「徐々に改善していく」という表現は読み取り方によっては先送りしていると読み取れる、と

いう点に対する回答を補足していただいた。複数回に分けて改定していく、という意味が表示されている。

今後は、経営戦略改定版（案）を第6回開催後にパブリックコメントにかけ、大幅な修正を行う場合は追加で審議会を開催させていただく。修正がない場合は、第6回の答申（案）に基づき答申となる。

経営戦略改定版（案）は、パブリックコメントによって修正の可能性があることと、ここまでの審議等を踏まえて、審議会の名で出す答申（案）に我々の主張を盛り込んでいくという手順。

本日の審議をすべて終了してよろしいか。

○全員
異議なし。

以上